

まちなみ 散策マップ。

- MINATOMACHI YOBUKO -

港町呼子にある古いまちなみを訪ねる旅

さあ、タイムスリップしに出かけましょう！



① 桂屋堤家(明治)

旧朝市通りの坂に建つ印象的な建物。明治期は酒屋、運送、昭和期は、はす向かいで桂湯を営んでいました。



② 駄菓子屋あたご(明治)

元徳島釣具店。昔の姿をそのまま子どもに人気の駄菓子屋が復活。ギャラリー&素泊まりの宿も併設されました。



●田嶋神社

●旧舟座(江戸)

●呼子バス停
●観光案内所
有料P

有料P

【案内所】
ROGO

朝市通り

④ 松田商店(明治)

呼子の市場で魚を買い、福岡や小倉の市場に卸す魚仲買商を営んでいました。



国の登録有形文化財

⑤ 対馬屋永井家(江戸)

昔は廻船問屋。種々の品を商い、五島藩の鯨組総支配人を兼務したこともありました。屋号は対馬の殿様が宿泊したことから、と伝わります。



●大綱引の中心線は呼子三神社の前。
銅鑼と火矢の合図で始まります。



⑦ 旧大阪湯(昭和)

昭和の元銭湯で洋風建築。レトロなタイルやモザイクタイルの壁画が素敵です。

⑨ 金七谷口本店(明治)

元酒場を谷口家が買い、昔は下関を過ぎたら金七をめざせと言われた船具店になりました。



⑪ 島屋山口家(江戸)

昭和初期は文具屋。昭和26年からは釣具屋になりました。



⑥ 呼子三神社

彦山大権現を呼子町の中心地に勧請し、呼子の守り神になりました。縁結びと長寿のご利益があります。

⑧ 旧来司歯科医院(大正)

蘭方医の末裔の家。医院、歯科医院の受付窓口や待合室の造りは昔のままです。



⑩ 百と十_vesper(明治)

元万十屋山下家の外観を残して海の見えるカフェ&ゲストハウスへと蘇りました。



佐賀県の重要文化財

③ 鯨組主中尾家屋敷(江戸)

中尾様には及びもないが、せめてなりたや殿様に、と歌われた鯨組経営者のお屋敷です。



●大漁鮮華

台場の湯●

無料P

●えびす像
●綱元の家●

●漁師の家

●願海寺

●龍昌院

●呼子八幡神社



⑫ 生薬屋前谷家(明治)

百味筆筒や摺り上げ大戸が残る薬屋。硝子天井は猫のお気に入りの場所です。



⑭ 三井屋西村家(明治)

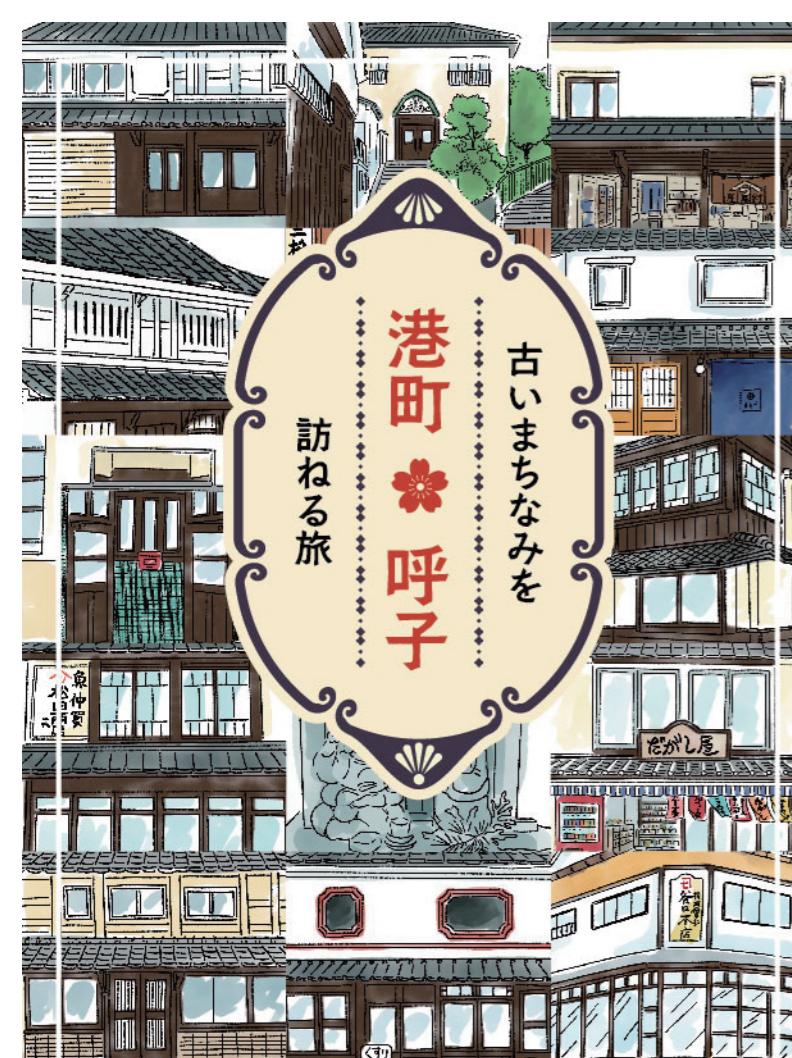
干物などの海産物を加工して商う海産物商でした。



⑬ 油屋谷口家(江戸)

居蔵造の雜貨屋。昔はご近所の日常を支えていました。





- MINATOMACHI YOBUKO -

呼子のまちなみ
保存協議会
MINATOMACHI YOBUKO

このマップは佐賀県の「さが自発チャレンジモデル創出事業交付金」を受けて作成しました。

呼子大橋の開通記念式典が2020年4月15日(土)に開催されました。式典では、佐賀県知事より感謝状が贈呈されました。また、式典には多くの来賓や地元住民が参列しました。



呼子大橋

あなただけの風景に幾度も出会えますように。
呼子をどうぞ味わってみてください。
幾層も古代からの時空とともににある迷路の町。
町家によって港町は形づくられてきました。
守られて、波穩やかな中世からの漁師町と近世に
大きき開かれ、64軒もあった問屋や捕鯨で栄えた
遣唐使船が立ち寄ったと伝えられる加部島に
へ渡航地として知られています。

東松浦半島の北端にある呼子は、古くから大陸

石積のまちづくり

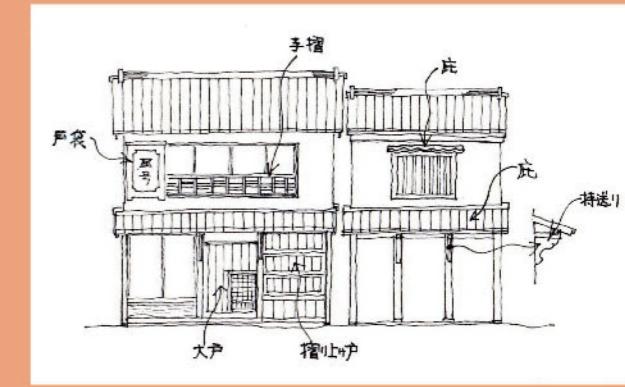


呼子では傾斜地で集落を作る際、建物の基礎や階段や道を作るためにたくさんの石材が用いられました。やがて建ち並んだ建物をつなぐように横道がはりめぐらされて迷路のようにながっていきます。

石積や石段が幾重にも重なった姿は実に面白く、思い思いに「呼子のマチュピチ」や「呼子石垣パーティオ」と名前をつけたくなるほど。

どうぞ坂道を登って鯨組主中尾家屋敷を見下ろしてみたり、そこから入り組んだ細い横道に入ってみたりしてください。お気に入りの石積のある風景と出会えるかもしれません。

町家のつくり



呼子の町家の特徴の一つは戸蔵造です。度重なる大火から家を守るために漆喰で壁や戸袋などを塗りこめた瓦葺で平入の家が多く作されました。漆喰塗の戸袋には苗字や屋号、商売の種類などが大きく描かれているのも特徴的。

二階の窓の庇のかたちも様々です。一階の庇を支える持送りにいろいろな彫刻がほどこされたものもあり、二階の手すりのデザインにこる人も。

板戸を戸溝にそって上下に動かして収める摺り上げ戸や跳ね上げ式の大戸がどの町家にあるか、どうぞ探してみてください。

石段を上ると…

呼子のパノラマ 呼子八幡神社

1200年ごろ創建。眼下の家並み越しに呼子大橋や弁天島、加部島が見える絶景ポイントです。

陰陽石がある 呼子三神社

本殿まで登るのはかなりスリリング。本殿裏には切り立った陰陽石が控え、町並みと呼子湾を見下ろせるパワースポットです。

中尾家屋敷と朝市見守る 呼子天満宮

中尾家屋敷の鬼門を守護するため太宰府から勧請されました。梅の季節は見逃せません。芭蕉句碑が残されています。

湾奥から見晴るかす 愛宕神社

拝殿から呼子湾を見渡せる絶景スポットです。火伏の神様。愛宕町のどこかに「愛の消火器」があります。

鯨が供養されている 龍昌院

三代目中尾甚六が鯨一頭の代価で再建したという言い伝えがあります。鯨観千本供養塔が残されています。

本堂の天井絵も見所のひとつ 須海寺

三代目中尾甚六が寄進したと伝えられている親鸞聖人絵伝があります。天井絵は港出入りの船乗りからも寄進されています。

親王の御位牌が安置されている 西念寺

知恩院の宮門跡・尊超法親王の位牌を安置する格式。繪旨により本堂の棟瓦と山門に菊の御紋の使用許可も得ました。

ちょっと一足

海の真ん中の弁天さん

呼子大橋の駐車場から降りて遊歩道でたどりつけます。かつて秀吉も舟遊びでやってきた弁天島には、嚴島神社(弁天さん)が祀られています。

佐賀県の天然記念物・呼子岩脈群ではダイナミックな火山活動の跡も体感できます。

カトリック呼子教会

平戸上神崎から移住した潜伏キリストンの遺産です。馬渡島に平戸の旧差紹教会を移築した昭和4年、馬渡島にあった明治15年築の木造の教会堂を呼子に解体移築しました。

一部増改築しましたが、リブ・ヴォールト天井などはそのままです。

呼子大橋を渡って加部島

加部島は、宗像三女神と同じ三人の姫神をお祀りした田島神社があったことから姫神島とも呼ばれました。

肥前国最古とも伝えられる田島神社の美しい姫神を思わせる社殿は必見です。

呼子湾を見下ろせる風の見える丘公園もおすすめです。

島の北端にある三方を青い海に囲まれた杉ノ原牧場は時間を忘れるほどの絶景ですが、実はこの牧場の牛たちの足元にあるのは前方後円墳の瓢塚古墳なのです。